

## 入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会の概要（2月18日(月) 高倉公民館）

### 1. 開催日時・会場

〈豊岡地区〉

日 時 平成31年2月18日（月） 午後7時00分から午後9時30分

場 所 高倉公民館 2階 大会議室

### 2. 内容

- ①開会あいさつ（田中市長）
- ②公共施設マネジメント事業計画（原案）についての説明（公共施設マネジメント推進課）
- ③質疑応答
- ④閉会

### 3. 参加者数

参加者 62名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

「公共施設マネジメント事業計画（原案）」市民説明会 質疑応答一覧

No.	発言要旨	応答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長としての倫理について伺いたい。市は厳しい財政状況であるから公共施設の統廃合をするのであると思う。市長は自分の給与を半額にすると言っていたが、今も半額になっているのか。残りの使途は何か。</li> </ul>	(市長) 1期目の公約として給与半額を掲げ、4年間実行した。浮いたお金は、市の一般財源として使った。2期目は公約に掲げていないので、半額にはしていない。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵山二丁目に住んでいるが、水害時の避難場所が高倉小学校になっているが、高倉小学校が無くなったら場合はどこに避難するのか。</li> </ul>	(危機管理課) 統廃合後も高倉小学校は公共施設として引き続き活用する計画である。現在は、地域防災計画で高倉小学校を避難所として指定しているが、地域防災計画の見直しも含め新たに指定を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画は一昨年、昨年と取り組んでいると思うが、原案が1月に出てからあまりにも決定を急いでいると思う。パブリックコメントを行っているが、どのように意見が反映されるか疑問である。黒須公民館の近くに石碑がある。昭和20年6月に霞川の氾濫があり、犠牲者が出て、その後に治水をしたことを記した石碑である。市長は知っているか。災害はいつ、どこで何が起きるか分からぬ。</li> <li>・地区が対立するようなことをなぜ市がやるのか。</li> <li>・地区センターとは何か。公民館は社会教育法に基づいて設置されている。何も決まっていないのに名前だけ変えることはおかしい。</li> </ul>	<p>(市長) 石碑のことは知っている。計画の内容については担当に話させる。</p> <p>(公マネ課) 素案の段階で黒須小学校・高倉小学校の両校を活用するメリットなどをお示しした。そこで様々な意見をいただいた。素案では示していなかったが、少しでも地区の中心に近い所に土地を購入して校舎を建設する案を示している。また素案の段階では、高倉小学校の跡地活用のことは示していなかった。現在の案は幾つかの公共施設を再編して複合施設にする案である。早過ぎるという意見に対しては、元々は施設の老朽化は待ったなしの状況であるという課題から発展したものと思っている。方向性を早急に定め、具体的な検討をスタートしなければならない。計画は10年毎に見直しを行う。計画通りに進めるためにも議論していきたい。防災拠点は高倉地区にも黒須地区にも必要である。</p> <p>(公マネ課) そのような指摘は他の地区でもあった。人口減少、少子化・高齢化は避けては通れない。人口減少対策は行うが、財政的に厳しくなることは予測されている。道路の整備や福祉、教育といった部分でサービスを低下させないために、施設のことは各地区で少しづつ我慢してもらい、資金を他の部分で活用していく考え方である。</p> <p>(公マネ課) 地区センターの具体像が見えないという意見に対しては反省する。公民館機能を無くすわけではなく、公民館の中には、現在も支所や図書館分館が入っている所もある。地区センターという名</p>

		称に変わることはあるが、公民館機能については、社会教育を地域で行うという機能は残していく。これから更に具体化していきたい。
4	・市の借金が増えれば、市民の負担が増えるのではないかという懸念がある。市役所の建替えと耐震補強は、金額的にどれ位の差があるのか。	(公マネ課) 市役所の建替えは 63.3 億円という試算が出ている。A・B 棟は建設後 40 年以上が経過し古く、C 棟は 30 年弱経過している。問題になっているのは A・B 棟で、それに代わる新棟の建設費と C 棟の改修費用、A・B 棟の解体等の費用を算出している。新庁舎の建設費として 42.7 億円を見込んでいる。一方、耐震補強と大規模改修を行う場合は、61.6 億円で約 2 億の差がある。耐震補強は建物の構造により金額が異なり、A・B 棟は大きな吹き抜けがあり非常にお金がかかる。よく引き合いに出される川越市とはその点が違う。 (政策推進室) 市の借金ということで起債についてお話しをさせていただく。「入間市の予算」によれば、市民一人あたりの地方債の起債残高は、216,631 円で、40 市中 8 位で県内では良い方。一度に大きな金額を注ぎ込むことは市としても辛いが、長く使う施設であり、財政を平準化して財政をやりくりしていく。税金が上がるかというと、所得税は個人の所得の状況による。住民税は、市民税と県民税に分かれているが、起債残高が増えたからと言って上がるものではない。
5	・「入間市人口ビジョン」では、2049 年に 12 万人に減るという推計である。2060 年には 8.9 万人に減る。人口が減り、収支が減るから公民館を減らすというのは分かる。人口ビジョンには、人口減少対策に力を入れると書いてある。2049 年に 12 万人になることを前提にしているにも関わらず、2060 年に 12 万人を維持するというのは矛盾していないか。これからは自治体間の競争の時代が来ると思う。公共施設が無くなれば魅力が無くなり、人口が流出しますます衰退していく。	(市長) 入間が元気になって、住みたいと思ってもらえるまちにしたい。現在の推計では、何も対策をしなかった場合、2060 年には 9 万人を切ってしまう。教育や子育てに一生懸命力を注げば 2060 年に 12 万人を維持できると思っている。2040 年には合計特殊出生率を 1.8 まで伸ばそうとしている。また人口が増えも減りもしない 2.07 を 2060 年に達成することを目指している。ここ数年は出生率が毎年上がっているが、人口構成の中で出産適齢期の女性の数が少ないため、すぐに人口は増えない。全ての施設を残すというのは聞こえはいいが、お金はなくなってしまう。扶助費は年々増えており、福祉にお金を回せなくなってしまう。 (政策推進室) 人口の推移について、2030 年には何も対策をしない場合 13.5 万人、2040 年には 12 万人、2050 年 10.4 万人、2060 年には 8.9 万人になる見込

		みである。合計特殊出生率を上げる取組みや子育て世帯に選んでもらえるような取組みを行っている。少しでも減り幅を少なくして 12 万人を維持していく考えである。今年の予算と昨年の予算を比較した時、扶助費は 2.4 億円増えている。今後の増え幅は読めないが、公共施設マネジメントの取組みを進め、財政をやりくりし、上手く投資していきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を中間にということだが、高倉からすると中間も黒須。高倉地区に小学校を残さないのはなぜか。60 年が耐用年数だとすれば、まだ 26 年ある。建物としては存続可能。黒須の方が古いため、建替えるついでに統合するように見える。小さくても学級数が少なくて、それぞれ残してほしい。黒須と高倉の中間に学校を造る予算とそれぞれの学校を使い続ける予算どちらが少ないのか。また、施設面積を 3 割減らすと言っているが計画を見ると残すものが多く減らないのではないか。</li> <li>高倉小学校を防災拠点として残すためにも整備は必要。</li> </ul>	(公マネ課) 費用の比較については、現時点では土地が決まっていないので確定的なことは言えないが、土地の購入費と設計・工事などの費用の試算は行った。統合した場合、現在と同規模だとすると約 19 億円の整備費が必要となる。土地購入費を除くと、規模によって異なるが、同規模だとすると約 16 億円必要となる。小規模校でコンパクト化するという考え方もあるが、学校では例えクラス数が半分に減ったとしても、特別教室や職員室、給食室など様々な部屋が必要となってくる。削減できたとしても 2~3 割。コンパクト化したとしても約 12 億円は見込まないといけない。両校残す場合と統合した場合では、統合して建替えた方がコスト面で有利だと試算した。また、建替えないで大規模改修するという方法もある。その場合でも施設・設備の改修やトイレの洋式化、バリアフリー化など様々な課題がある。様々なコスト比較をしたうえで、統合して建替える案とした。確かに施設は減ってしまうが、設備の充実を図り、教育への投資につなげていきたい。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅から学校まで歩いたが、大人でも 45 分位かかった。雨の日も風の日も、小学校 1 年生だと 1 時間以上はかかる。歩道が狭く交通量が多い所もある。毎日朝早く、冬だと夕方は暗くなり、児童の安全確保は可能なのか。また保護者の負担も大きい。学級数の基準も特例を考えれば問題はない</li> </ul>	(公マネ課) 防災拠点として残す場合、学校として残す場合のコストを比較すると、やはり防災拠点としての方が安く済むのではないかと考えている。また、施設面積を 3 割削減できるのかという質問については、今の案としては青少年活動センターや障害者活動センターなど幾つかの公共施設を集約し、全体の面積を減らしていくという考えである。
		(学校教育課) 学区については、実際の統合は第 2 期を予定しているが、第 1 期から検討を進める必要がある。現在も課題や意見をいただいているので、学区の見直しは行っていく考えである。 (公マネ課) 複合化を実施しない理由について、素案の段階では、小学校には学童保

	<p>と思っている。できれば高倉小学校を残した方が良いと思っている。提案として、高倉小学校の中に保育所や公民館、学童保育室を造れば良い。複合施設は、志木市や吉川市には既にあり、鶴ヶ島市も検討しているという。公民館との複合施設は焼津市にある。小規模校であれば山形県にもある。市は情報収集した方が良い。質問であるが、高倉小学校の校区には現在、豊岡三丁目の一部と扇町屋二丁目の霞川団地の児童もいる。これらの児童はどこに行くこととなるのか。学校の再編、人数減少を見直すためにも学校区の見直しを行うのか。また、地域交流スペースの複合化は実施しないと書いてあり、児童の安全面の課題とあるが、具体的な理由は何か。</p>	<p>育室以外に図書館分館や地域交流スペースを設ける考えであった。これを基に各地区の説明会や地区懇談会を行ったところ、不特定多数の大人が出入りすることへのリスク、セキュリティ面の指摘が多く出た。市としてはメリット等も挙げたが、子どもの安全が最優先であるということで、複合化の考えは取り下げた。公民館との複合化も検討したが、同じ理由で難しいだろうと判断した。学童保育室や保育所といった子どもに関する複合施設とすることは、検討課題として残している。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントを出しているが、どこにどのように反映されるのか。</li> </ul>	<p>(公マネ課) 2月28日までが受付期間となっている。意見をまとめて分析し、原案の中に反映させていく。市の対応を載せていく。今はまだ準備中である。</p> <p>(公マネ課) 補足だが、パブリックコメントは一定期間意見募集するもの。様々な意見が出るので、その都度回答はしていない。賛成意見も反対意見もあるため、横並びにして比較検討したうえで、計画に反映させていく。受付期間を過ぎ、全て出揃ってから方向性を出し、公表するというのがパブリックコメントの基本的な考え方である。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵山一丁目に浅間山団地という空き家になった団地がある。役員をやっているが、真っ暗で治安が悪いのではないかという声を聞く。浅間山団地に複合施設を造るなどしてもらいたい。そういうものが出来れば鍵山も活性化するのではないか。</li> <li>・小学校の統廃合については、通学に1時間かかるのは大変である。スクールバスも一つの選択肢に入れて検討してほしい。</li> </ul>	<p>(政策推進室) 浅間山団地については、情報は関係各課で共有している。跡地の活用についても今の動きを見て検討している。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて人口減少対策に取り組んでいる。なかなか施策が人口増に繋がっていないのも事実。しかし、ここ数年は減り幅が小さくなっている。引き続き努力していくので、アドバイスをいただければと思う。</p> <p>(学校教育課) スクールバスについては、学区の再編と併せて、通学距離や交通事情のことも念頭に入れて検討していく。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月24日の説明会では、入間市の入間川は床下浸水想定区域に入っていないという説明だったが、県庁のホームページを確認すると10年前の情報である。県に問い合わせて聞いたところ、来年6月に更新予定のことであった。市の方でも把握しているはずであるのに、なぜそこまで待てないのか。仮に入間川と霞川が、床下浸水想</li> </ul>	<p>(危機管理課) 県が改訂の準備をしていることは把握しているが、入間市としてはその状況は確認していない。床下浸水想定区域の場所に公共施設が出来るということについては、既存の施設については、浸水が想定される場合の避難先の確保や対応策を考えておく必要がある。また、新設される公共施設については、浸</p>

	<p>定区域に入っていた場合は黒須公民館や黒須小学校は本当に造れるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そこまでして高倉小学校ではなく黒須小学校を残す理由はあるのか。中間地点といって坂の下である。無駄なお金を使うであれば高倉小学校を残すことは大事だと思うし、お金もかからないと思う。</li> <li>それは言い訳であって、過去に実際に水害が起きている。</li> <li>過去に水害が起きている。一昨年も霞川で氾濫が起きている。なぜ意見を聞けないのか。</li> <li>事故が起きた場合は誰が責任を取るのか。</li> </ul>
	<p>水が想定される地域では嵩上げなど災害対策を取ったうえでの整備が必要である。</p> <p>(総務部) 今のは、来年6月の改訂で床下浸水区域になるという前提の話かと思う。ただ現在は公表されておらず、市としては現在のデータに基づいて計画を作成するということが大前提になる。公表された時点でその対策を検討する。そうでないとなかなか計画を具体化できない。市としては、今あるデータに基づいて計画を策定すると同時に、柔軟性を持たせておくということが大事だと考えている。</p>
	<p>(総務部) 今持っているデータでしっかりと分析をして考えることが大前提となる。今後状況が変われば柔軟に対応していくという考えがベースになければ、何ら具体的な計画は立てることはできない。先ほどの人口推計についても、現時点での予測を作ったうえで、人口減少対策に取組み、その状況を見ながら情報修正をしていくというのが堅実な計画だと思っている。3月までに一旦計画としてまとめさせていただき、その後の状況に応じて柔軟に対応していくというふうに考えている。県の浸水想定区域の情報は現時点で公表されていないため、公表された時点で対応策を考える必要がある。</p>
	<p>(総務部) 過去の事象については県などが河川改修を行うなど対策は取られていると思う。過去に水害が起きた土地であるから公共施設が建てられないということは考えていない。判断については、しっかりとしたデータに基づいて行う。</p> <p>(市長) 今は高倉小学校と黒須小学校の中間点に新しく整備することを最優先でやらせていただきたい。本日多くの意見をいただいたので、計画に反映させるのかしっかりと判断する。仮に黒須小学校に統合となった場合でも、今は危険な場所とはなっていない。来年、県のデータが公表されるとすれば、この計画は10年毎、また10年の中間でも見直しを行う。決めたからこれでいくということではなく柔軟に対応していく。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年後、代替地が見つからなければ黒須で決まりなのか。</li> <li>・市の資料では、黒須中の横川電子機器あたりに印が付いているが、そこになる予定なのか。</li> <li>・市長、「主権在民」という言葉を知っているか。主権は誰のものか。</li> <li>・現在署名活動をしており、約1300名分集まっている。しかし、自治会の回覧に入れてもらおうとお願いしたら拒否された。</li> <li>・市から報酬が出ている。幾ら出ているのか。</li> <li>・自治会長で年間22万9,500円、副会長が7万7,000円。市内には120の自治会がある。一つの自治会で30万から40万で、これが120あつたら幾らになるのか。自治会として署名をやってほしい。先日、南七区の広場のことでのアンケートが回覧されていた。なぜ署名はやってくれないのか。</li> </ul>	<p>(市長) 計画が決まれば土地の交渉に入らせていただく。今の案では、土地が見つからなければ黒須の方に統合という案になっている。これは決定ではなく見直しをしていくという考え方である。</p> <p>(公マネ課) 土地については検討中で、ある程度の目安として印を付けた。</p> <p>(市長) 当然市民。</p> <p>(自治文化課) 自治会については、市と共同でまちづくりをしている団体であるが、独立している組織である。自治会の判断になる。</p> <p>(自治文化課) 報奨金は出ている。例えば市の広報誌の配布や、区の市への協力、道路陥没の通報など市と一緒にになっての活動に対する報奨金となっている。金額については手持ちの資料が無い。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校にしたらどうか。</li> <li>・部活動でなかなか人数が集まらないという問題については、地域のスポーツクラブに入ってもらうのはどうか。</li> </ul>	<p>(学校教育課) 各地区での説明をしている中で、小中一貫校はどうかという提案はいただいている、視察もしている。入間市では、統廃合を議論する前から施設分離型の小中一貫教育を行っている。規模が小さな学校、特に中学校で部活動の人数がなかなか揃わないという所では、小学校と中学校を一緒にしても中学校という規模では変わらないため、課題を解決する案とはならない。</p> <p>(学校教育課) そういった国の方針もある。また、実際に指導員という形で入っていただいている方もいる。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントについて、2週間で検討して、2週間で確定するのはおかしい。意見まとめるのは時間が必要。4月から事業開始とする理由は何か。</li> </ul>	<p>(公マネ課) 短い期間だという指摘はある。この事業計画は30年間の計画で、様々な公共施設が関係する計画となっている。喫緊の課題となっている施設の整備に早く取りかからないといけない。10年後、20年後のこととなると、</p>

		将来の状況の変化を見据えてないという指摘もある。見直しを入れながら最善の策を選択する。小学校や公民館は第2期に統合になる。時点修正を加えながら時期を見て進める。
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>この計画はあまりに見切り発車。先ほど地区センターについては、具体的な内容は2022年に決まると説明があった。地区センターは何の法的根拠も無い。公民館は社会教育法によって定められた施設である。地区センターに法的根拠はないため、民間委託もできるようになる。そういう考えはあるのか。</li> <li>学区については第1期中に考えると言っていたが、地区センターの中身も学区も決まってないのに、30年の中で見直すからというのは順序がおかしい。</li> </ul>	(市長) しっかりと意見を聴いて計画に反映させる。パブリックコメントの意見も見て、総合的に判断していく。市として無計画に進めることはできない。市には多くの計画がある。その多くは議会の議決事項ではなく、執行部の考え方である。今回の計画は市民の生活に密着するものであるため、各地区で説明会や意見交換会を開催してきている。これまで出た意見は反映させてきており、これからもしっかりと行う。この計画は大きな30年間の計画となる。状況は刻々と変化しているため、見直しを入れながら、市民の意見を聴きながら形にしていく。そして市は計画に沿って事業を進めていく。しかし、例えば新しく小学校を整備する土地を購入する時には予算案を議会に提出する。統合しない方が良いということで議員が反対すれば議決されない。計画に則って事業を進めるが、様々な要素が変化する中で微調整しながら、市民の代表である議員のチェックも受けながら進めていく。
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野の村に住んでいた。その村では、カラーの広報は正月だけだった。入間市は毎月カラーで無駄である。少しは儉約してほしい。</li> </ul>	(公マネ課) ご意見として承る。